



「ヤマトネイチャーサークル」は、株式会社ヤマトが行なっている様々な自然環境への取り組みの総称です。

さらなる自然との共生を目指し、地域社会や自然環境への貢献を目的として「ヤマトネイチャーサークル」は幅広い情報を発信していきます。

## 葉画家 群馬直美の ヤマトビオトープ園の葉っぱたち vol.61 絵と文 群馬直美

### 芽生えのダンス《ヤツデ》

ヤツデの葉っぱとの最初の出会いは、思い出そうとしても思い出せない。

物心ついた頃にはすでに隣に居て、

「ヤツデ」と呼んでいたような気がする。

大きくて丈夫な葉っぱは、思いつき手を広げたように独特な形をしていて、

遠目からでも「ヤツデ」とすぐわかる。

太陽の光をあまり求めず日陰を好む、というけれど、

どの葉も上を向いて開いている様は「天の恵みをありがとう!」と

感謝の舞いを舞っているみたいだ。

今日、ビオトープ園の片隅のそんなヤツデの葉っぱたちの真ん中に、

光り輝くものが突き出ていた。

びっくりして近寄ると、それは艶やかな黄緑色の若葉集団だった。

生まれてはじめて見る芽吹きヤツデの葉っぱに、目を丸くする私。

みんな細かな産毛に包まれ、とても毛深い。

それぞれの葉はすでに長い柄を持っていて、厳かな神殿の柱のようである。

中心部には、閉じた葉の姿。小さな手を合わせてお祈りしているみたい。

なんて健気な葉っぱのはじまりなんだろう……と、

胸の奥がきゅんとする。

少し上の葉に目をやると、縁がくるくる折り畳まれ葉っぱの裏側が見て取れる。

顔を近づけて目を凝らすと黄土色の毛が絡まり合い、

「油揚げみたいだ!」

と驚いてこの絵を描いた。

絵が完成したひと月半後、この原稿を書いていたら1つの踊りが舞い降りてきた。

両手にお揚げを掲げくねくね腕をくねらせて踊る『きつねうどんの舞い』。

さあ、皆さんご一緒に〜♪

ああ、長い葉柄がうどんに、表面に生えた毛がうどんに絡み付いたとろろこんぶに思えてきたよ。

とても美味しそうで元気になる、ヤツデの葉っぱの芽生えのダンスなのだ。

### 表紙の絵「ヤツデ」

お祈りしながら生まれ来る葉。

- ・紙(ファブリアーノ エキストラホワイト極細目)/テンペラ
- ・size:320mm×410mm
- ・2022.6.10完成
- ・ヤマトビオトープ園にて2022.4.21出会う
- © Naomi Gumma

建設プロダクト  ヤマト

株式会社ヤマト 総務部広報室

2022年8月発行

〒371-0844 群馬県前橋市古市町118 TEL.027-290-1800(代) FAX.027-290-1896

ヤマトホームページ [www.yamato-se.co.jp](http://www.yamato-se.co.jp)

#### 群馬直美 GUMMA NAOMI プロフィール

高崎市生まれ。1982年、東京造形大学絵画科卒業。在学中に新緑の美しさ、その生命力に深く癒された経験から、「葉っぱ」をテーマとする創作活動に入る。「葉っぱの精神—この世の中の一つ一つのものは全て同じ価値があり光り輝く存在である」に則り、1991年テンペラで克明に描く現在の作風に至る。著書に『言の葉 葉っぱ暦』『群馬直美の木の葉と木の實の美術館』他。東京都立川市在住。 <https://www.wood.jp/konoha/>